

ブラック

1 インク残量検知機能を無効にする

つめかえたカートリッジをプリンタに取り付け、クリーニングまたは印刷を開始すると下記のメッセージが表示されますので各々の手順に従って操作を行ってください。

ステータスモニター	操作パネル液晶モニター	エラーランプ
MP460 / MP450 / MP170 / P1700 / P2200	MP170	MP460 / MP450 / MP170 / P1700 / P2200
	クロインク ザンリョウ フメイ インサツケッカガ オカシイトキハ ヘッドイチチョウセイオ オススメシマス	色や緑がかわる場合 ヘッド位置調整を 行うと解決します はい
キャノンプリンタ P KUS MP450 (OS Windows XP) を使用時の画面です。		点灯 本体操作の場合は 消灯となります。

操作手順	パソコンの場合	本体操作の場合
MP460 / MP450 / MP170 / P1700 / P2200	MP170	MP460 / MP450
ステータスモニターの [OK] をクリックすると表示が消え、印刷が開始されます。	操作パネルのモノクロ / カラーの [スタート] ボタンを押してください。	操作パネルの [OK] ボタンを押すと印刷が開始されます。
	操作パネルのモノクロ / カラーの [スタート] ボタンまたは [OK] ボタンを押すと印刷が開始されます。	

2 印刷開始直後、または印刷中に下記のいずれかのメッセージが表示される場合があります。その場合は各々の手順に従って操作を行ってください。表示されない場合はそのまま印刷を続けてください。

ステータスモニター	操作パネル液晶モニター	エラーランプ
MP460 / MP450 / MP170 / P1700 / P2200	MP170	MP460 / MP450 / MP170 / P1700 / P2200
	クロインクガ ナクナリマス	消灯 点灯
	インクラ カクニンシテクダサイ U041	点灯 4回点滅
	インクラ カクニンシテクダサイ U162	点灯 16回点滅

操作手順	MP460 / MP450 / MP170	P1700 / P2200
つめかえをしてインクは充填されていますので通常通り印刷ができます。	つめかえをしてインクは充填されていますので通常通り印刷ができます。	つめかえをしてインクは充填されていますので通常通り印刷ができます。
操作パネルの [OK] ボタンをエラーランプが消えるまで押すと、インク残量検知機能が無効になり、印刷可能となります。	操作パネルの [OK] ボタンをエラーランプが消えるまで押すと、インク残量検知機能が無効になり、印刷可能となります。	操作パネルの [OK] ボタンをエラーランプが消えるまで押すと、インク残量検知機能が無効になり、印刷可能となります。
ステータスモニターの [OK] をクリックしても同じ表示が繰り返されますので、上記の操作を行ってください。	ステータスモニターの [OK] をクリックしても同じ表示が繰り返されますので、上記の操作を行ってください。	ステータスモニターの [OK] をクリックしても同じ表示が繰り返されますので、上記の操作を行ってください。
つめ替え手順 A ブラック クリーニング・印字テスト		

カラー

1 インク残量検知機能を無効にする

つめかえたカートリッジをプリンタに取り付け、クリーニングまたは印刷を開始すると下記のメッセージが表示されますので各々の手順に従って操作を行ってください。

ステータスモニター	操作パネル液晶モニター	エラーランプ
MP460 / MP450 / MP170 / P1700 / P2200	MP170	MP460 / MP450 / MP170 / P1700 / P2200
	カラーインク ザンリョウ フメイ インサツケッカガ オカシイトキハ ヘッドイチチョウセイオ オススメシマス	色や緑がかわる場合 ヘッド位置調整を 行うと解決します はい
キャノンプリンタ P KUS MP450 (OS Windows XP) を使用時の画面です。		点灯 本体操作の場合は 消灯となります。

操作手順	パソコンの場合	本体操作の場合
MP460 / MP450 / MP170 / P1700 / P2200	MP170	MP460 / MP450
ステータスモニターの [OK] をクリックすると表示が消え、印刷が開始されます。	操作パネルのモノクロ / カラーの [スタート] ボタンを押してください。	操作パネルの [OK] ボタンを押すと印刷が開始されます。
	操作パネルのモノクロ / カラーの [スタート] ボタンまたは [OK] ボタンを押すと印刷が開始されます。	

2 印刷開始直後、または印刷中に下記のいずれかのメッセージが表示される場合があります。その場合は各々の手順に従って操作を行ってください。表示されない場合はそのまま印刷を続けてください。

ステータスモニター	操作パネル液晶モニター	エラーランプ
MP460 / MP450 / MP170 / P1700 / P2200	MP170	MP460 / MP450 / MP170 / P1700 / P2200
	カラーインクガ ナクナリマス	消灯 点灯
	インクラ カクニンシテクダサイ U041	点灯 4回点滅
	インクラ カクニンシテクダサイ U162	点灯 16回点滅

操作手順	MP460 / MP450 / MP170	P1700 / P2200
つめかえをしてインクは充填されていますので通常通り印刷ができます。	つめかえをしてインクは充填されていますので通常通り印刷ができます。	つめかえをしてインクは充填されていますので通常通り印刷ができます。
操作パネルの [OK] ボタンをエラーランプが消えるまで押すと、インク残量検知機能が無効になり、印刷可能となります。	操作パネルの [OK] ボタンをエラーランプが消えるまで押すと、インク残量検知機能が無効になり、印刷可能となります。	操作パネルの [OK] ボタンをエラーランプが消えるまで押すと、インク残量検知機能が無効になり、印刷可能となります。
ステータスモニターの [OK] をクリックしても同じ表示が繰り返されますので、上記の操作を行ってください。	ステータスモニターの [OK] をクリックしても同じ表示が繰り返されますので、上記の操作を行ってください。	ステータスモニターの [OK] をクリックしても同じ表示が繰り返されますので、上記の操作を行ってください。
つめ替え手順 B カラー クリーニング・印字テスト		

症状	確認事項	処置
注文中に注入口からインクが漏れだす	入れ方が適正でないか、インクの入れ過ぎの可能性が大きい。	インクの注入は静かにゆっくり行って下さい。強く急な注入は跳いで注入口から漏れだすことがあります。インクの注入量は(手順4)を参照して、標準量を参考にしてください。入れ過ぎはノズルにも影響が出やすく、印字不良になりやすくなります。
注文中にプリントヘッドからインクが漏れだす	注入口をふさいでいませんか。	ノズルを差し込みすぎると注入口をふさいで状態では、インクが入った分の空気が抜けないためノズルから漏れだすことがあります。注入口は注入口とノズルの間にすき間をとってください。(手順4参照)
最後のインク確認でプリントヘッドからインクが漏れだす	インクの入れ過ぎの可能性が大きい。	ティッシュペーパーの上にカートリッジのヘッドを下にして30秒ほど置き、余分なインクが自然に止まるまで吸収してください。
最後のインク確認でインクが出ていない	つめ替え前にヘッドの確認をしましたがインクが固まって付いていませんか?	ヘッドにインクがついたまま放置されたカートリッジはインクが固まってしまい、使用できない可能性があります。つめ替えインクが自動的にカートリッジ内やノズルを凝固させることはありません。
付属品の注入口シールがなくなった	印刷の接着テープなどを代用してお使いください	注入口からの漏れなどのため途中で注入を止められた場合でも、その後、まだインクが入ることがあります。再度、インクを注入してみてください。
注入後、プリントヘッドからインクが漏れだす	インクの入れ過ぎの可能性が大きい。	ティッシュペーパーの上にカートリッジのヘッドを下にして30秒ほど置き、余分なインクが自然に止まるまで吸収してください。
インク残量検知を無効にする操作をしていただけましたか?	インク残量検知を無効にする操作をしていただけましたか?	つめ替えした後のカートリッジはインク残量検知機能を無効にして使用しますので、その操作を行ってください。(「印刷の続行操作とインク残量検知機能の無効操作について」参照)
カートリッジをプリンタにつけても動作しない	カートリッジを確認してください	互換カートリッジや再生リサイクルカートリッジをつけていませんか。純正品以外では対応していません。
カートリッジのコンタクト面やプリンタ側のコンタクトが汚れていますか	汚れなどによりプリンタが認識しない場合があります。プリンタの取扱説明書またはサポート情報をご参照して対応してください。	
長期使用していない、または、外してあったカートリッジではありませんか	長期使用していない、または、外してあったカートリッジではありませんか	ヘッドにインクがついたまま放置されたカートリッジはインクが固まってしまい、印刷しない可能性があります。つめ替え前に必ず印字できるか確認してください。
印刷ができない、またはかすれやズレが入る(下記1)	他社のインクと併用していませんか	純正交換インクなので、併用した場合インクのかすれや出なくなるおそれがあります。
	プリントヘッドにインクが余分に付いていませんか、インクの入れ過ぎの可能性が大きい	インクを入れ過ぎるとヘッドにインクが固まり、ノズルをふさいでしまいます。ティッシュペーパーの上にカートリッジのヘッドを下にして30秒ほど置き、余分なインクを吸収してください。
	インク注入量が不足していませんか	注入口からの漏れなどのため途中で注入を止められた場合でも、その後、まだインクが入ることがあります。再度、インクを注入してみてください。
	注入口(注入口)とつめ替えしたインクの色が合っていますか	合っていない場合は色がかわります。この場合は一旦その色がなくなるまで単色印刷をして、再度つめ替えをして通常の色に戻るまで印刷してください。
色合いがおかしい BC711-9の場合	印刷再開しても色合いが戻りませんか	入れ過ぎなどで濡れていた場合、3色のインクが濡れ、ヘッドやノズルの内側付近だけ色が変わっていることがあります。上記の入れ過ぎの対応をしていただくか、印刷を続けられれば通常の色に戻ります。
	3色のインクが出ていませんか	(手順4)のインクを確認して下さい。出していない場合、つめ替え回数、量の過不足、空気を吸った原因でインクが出ず、色が変化する場合があります。上記の各々の対応をしてください。
インク残量の表示について	インク残量の表示について	つめ替えした後のカートリッジはインク残量検知機能を無効にして使用しますので、そのカートリッジを使用中は残量を表示しません。新品カートリッジを取り付けることにより再び有効となります。

(1) 改善しないままクリーニングを繰り返すことはしないで下さい。つめ替えしたインクや他のインクの消費を早め、通常動作に戻るまで時間がかかってしまいます。

トラブルシューティング

クリーニングの繰り返しはつめ替えしたインクや他のインクの消費を早め、通常動作に戻るまで時間がかかってしまいますので、左記のトラブルシューティングを参照してください。以下の状態のインクカートリッジでつめ替えをした場合はサポート対象外となりますので、お確かめのうえお使いください。

- 純正新品使用後のカートリッジ以外のカートリッジには対応していません。(再生品カートリッジ、互換品カートリッジ、他社つめ替えインクと併用など)
- つめ替え回数が取扱説明書に記載の推奨限度回数を超えて不具合となったカートリッジ。
- 他社つめ替えインクや道具、並びにインク残量表示を書き換えたカートリッジ。
- インクがなくなると長い間放置(使用しない)されていて、つめ替え不能なカートリッジ。

安全上の注意

次の注意事項は、つめ替え時の危害や損傷を未然に防ぎ、つめ替えインクセットを正しく安全にお使い頂くためのものです。

つめ替えは新聞紙などを敷いて、その上で行って下さい。つめ替え時にインクがこぼれ、周辺が汚れる事があります。ティッシュペーパーもしくはペーパータオルなどをあらかじめご用意下さい。ポケットドリルは金属製です。ご使用の際は、手・指など、けがをしないように説明書に従い注意して取り扱ってください。使用しないときは、パッケージ(外箱)に入れて保管して下さい。また、つめ替えインクの用途以外には使用しないで下さい。

本製品のインクは身体や衣類に付着するとすぐに消えません。ご使用に際しては注入する時の他は不意にインクボトルを強く握ったり逆さまに持たないようにして下さい。インクボトルのノズルの先からインクが飛び出したり、こぼれ落ちて身体や衣類に付着しないように注意して下さい。

注意

子供の手の届く所に置かないで下さい。飲むことはできません。誤って飲んでしまった場合には、医師の診断を受けて下さい。

目に入ってしまった場合には、すぐに水で洗い流して下さい。カートリッジをプリンタから取り外したり、取り付けた時には、プリンタの取扱説明書の指示に従って下さい。

インクは開封後1年以内に使用して下さい。

本製品のインクは当社オリジナルインクを使用しています。純正インクを使ったプリントの色合いとは差異が生じる場合があります。商品仕様は諸般の事情により予告なく変更することもありますので、あらかじめご了承下さい。本製品はキャノン(株)とは無関係で承認を受けたものではありません。商品仕様は諸般の事情により予告なく変更することもありますので、あらかじめご了承下さい。万一当社の製品上の原因による品質不良がありました場合には、同数の新しい製品と取り替えいたします。それ以外の責任はご容赦願います。記載されている会社名・商品名は、一般には各社の商標または登録商標です。改良のため予告なく外観、仕様を変更する場合があります。